

&lt;お客様用&gt;

大切な「水」をあなたへ……川本ポンプ

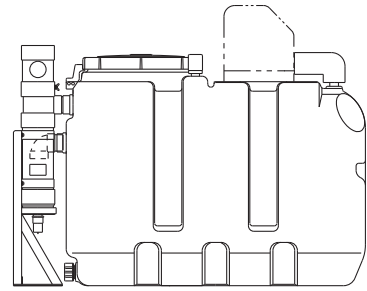


KAWA® 太郎

&lt;地上形雨水利用装置&gt;

TAR

## 取扱説明書



このたびは、地上形KAWA太郎をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。なお、  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## &lt;目次&gt;

1 仕様	2	4 試運転	5
2 製品の構成	3	5 保守・点検	6
3 ご使用になる前にご確認くださいこと	5	6 故障の原因と対策	10

&lt;KAWA太郎の据付は専門工事が必要ですから、お客様自身では行わないでください&gt;

### ⚠️ 特に注意していただきたいこと

1. この装置の水は飲み水ではありません。蛇口に必ずえふ「この水はのめません」（標準付属品）を取り付けてください。飲むと身体の不調の原因になります。
2. この装置の水は、洗浄便座、手洗いには使用できません。使用すると身体の不調の原因になります。
3. 修理作業員以外の人は、排水コマの取り替え、フィルタの掃除以外の分解・修理・改造やケーブル交換を行わないでください。不備があると故障・破損・感電・火災の原因になります。
4. 点検・交換の際は、必ずポンプの電源を遮断する。または、電源プラグを抜いて作業を実施してください。その際は濡れた手で作業をしないでください。漏電・感電やけがの恐れがあります。

本文中の関連箇所にも製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されています。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠️ 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠️ 注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

[注記]

1. ご使用前に取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。取扱説明書には危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されております。
2. この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
3. 適用範囲外での使用、注意書きなどの不遵守、不当な修理・改造、天災地変に起因するもの、設置環境（電源異常・異物・砂など）によるもの、法令・省令またはそれに準じる基準などに不適合のもの、不慮・故意による故障・損傷のもの、消耗部品の交換、転売による不具合などは保証対象外となる場合があります。
4. 弊社にお問い合わせの際は、『形式』及び『製造番号』をご連絡ください。
5. 不要な部品及び梱包材などの廃棄方法については、各自治体にご確認ください。

# 1 仕様

## ▲ 注意

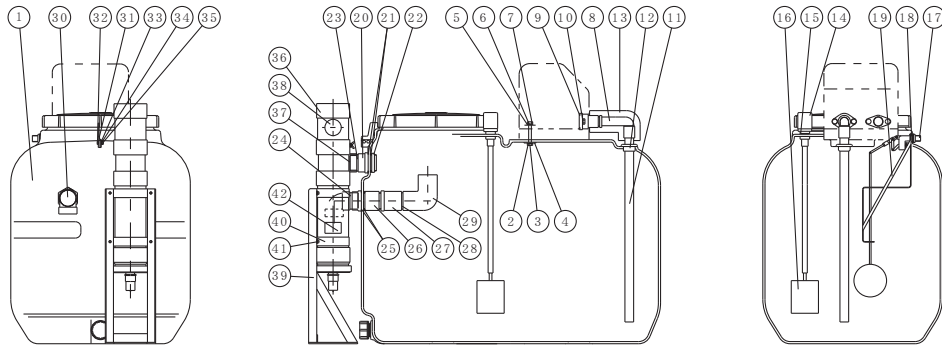
- 用途に合った商品をお選びください。不適切な用途で使うと事故の原因になります。
- 決められた製品仕様以外では使用しないでください。感電・火災、漏水などの原因になります。
- 危険・警告・注意ラベル類には人身への危害または財産への損害を引き起こす可能性のある事項が記載してありますので必ず遵守ください。守らないと機器が故障したり感電、火災、けがなどの原因になります。
- 仕様液質として記載のない液体などには使用しないでください。ポンプが故障し、漏電・感電・火災の原因になります。
- 生物（養魚場・生け簀・水族館など）の設備、または重要設備に使用する場合は、予備機を準備してください。ポンプ故障により、酸欠や水質悪化などが発生し、生物の生命に影響を与える恐れがあります。

取扱液	液質	雨水、上水	KAWA太郎セット記号	受水槽	受水槽付属セット			
	液温	0～40℃(但し、凍結なきこと。)				TAR-30	TAB-30R	60
	pH値	6～8				TAR-30-B	TAB-30R-B	68
設置場所	屋外		TAR-50	TAB-50R	61			
標準集水面積	30～100m <sup>2</sup>		TAR-50-B	TAB-50R-B	69			
標準縦樋口径	60mm		※-Bは架台付き					
適用ポンプ	NF3形 (150W, 250W, 400W)							
	NR形 (130W, 150W, 200W, 250W)							

## 2 製品の構成

### 2.1 構造図

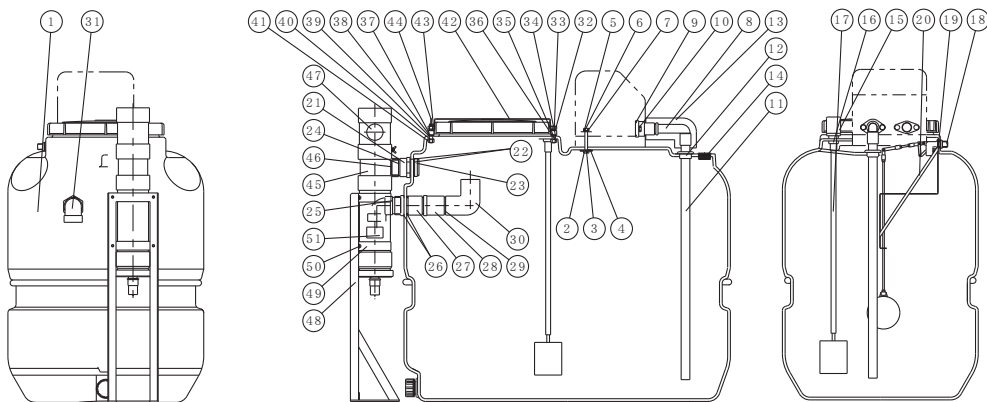
#### (1) TAR-30



<図-1>

No.	名 称	記号・寸法	No.	名 称	記号・寸法
1	受水槽	TAB-30R	22	丸ナット	G2
2	ボルト	M10×80	23	直管	50×50 (雨水用)
3	平座金	12×45	24	配管	65 (フィルタφ3)
4	リングパッキン	9×45	25	Oリング	P70
5	ばね座金	10	26	ソケット	2・1/2
6	平座金	10	27	バルブ用ソケット	2・1/2 (排水用)
7	ナット	M10	28	直管	65×90(排水用)
8	配管	25	29	エルボ	2・1/2 (排水用)
9	リングパッキン	43×51.5	30	エルボ	2・1/2 (排水用)
10	平座金	10	31	ストッパー	
11	直管	25×72.5	32	ボルト	M6×20
12	パッキン		33	平座金	6
13	防寒カバー		34	ばね座金	6
14	フロートスイッチ本体		35	ナット	M6
15	リングパッキン	16×24	36	セパレータ	
16	フロート	100	37	フィルタ	(φ2)
17	ボールタップ	1/2B-10K	38	点検窓	
18	リング	22	39	支え	
19	支え		40	クランプ	150
20	バルブ用ソケット	2 (雨水用)	41	座金組込小ねじ	M6×12
21	Oリング	P55	42	銘板	

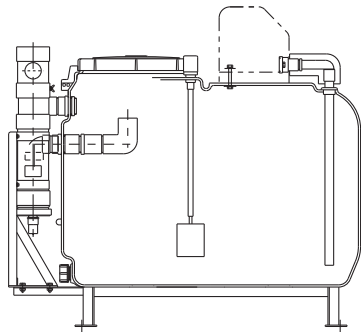
#### (2) TAR-50



<図-2>

No.	名 称	記号・寸法	No.	名 称	記号・寸法
1	受水槽	TAB-50R	27	ソケット	2・1/2
2	ボルト	M10×80	28	バルブ用ソケット	2・1/2 (排水用)
3	平座金	12×45	29	直管	65×90(排水用)
4	リングパッキン	9×45	30	エルボ	2・1/2 (排水用)
5	ばね座金	10	31	エルボ	2・1/2 (排水用)
6	平座金	10	32	特殊ボルト	M12
7	ナット	M10	33	平座金	12
8	配管	25	34	リングパッキン	12×18
9	リングパッキン	43×51.5	35	ばね座金	12
10	平座金	10	36	ナット	M12
11	直管	25×910	37	両ねじボルト	M12
12	パッキン		38	平座金	12
13	防寒カバー		39	リングパッキン	12×18
14	ふた		40	ばね座金	12
15	フロートスイッチ本体		41	ナット	M12
16	リングパッキン	16×24	42	クランプ	450
17	フロート	100	43	ナット	M12
18	ボールタップ	1/2B-10K	44	リング	
19	リング	22	45	セパレータ	
20	支え		46	フィルタ	(φ2)
21	バルブ用ソケット	2 (雨水用)	47	点検窓	
22	Oリング	P55	48	支え	
23	丸ナット	G2	49	クランプ	150
24	直管	50×50 (雨水用)	50	座金組込小ねじ	M6×12
25	配管	65 (フィルタφ3)	51	銘板	
26	Oリング	P70			

(3) 架台付き：TAR-30, 50B



## 2. 2 標準付属品

名 称	数量	備 考
弁座 (排水コマ)	1	排水口径3mm
平先止めねじ	2	M3×4 (予備品)
棒スパナ	1	1.5六角レンチ
フィルタC	2	セパレータのフィルタの内側に取り付け (予備品)
えふ	3	蛇口に取り付け
取扱説明書	1	工事店様用
取扱説明書	1	お客様用
シールテープ	1	雨水流入配管およびオーバーフロー配管のバルブ用ソケットに使用

### 3 ご使用になる前にご確認いただきたいこと

#### ▲ 警 告

- この装置の水は飲み水ではありません。蛇口には必ずえふ「この水はのめません」（標準付属品）を取り付けてください。飲むと身体の不調の原因となります。
- この装置の水は洗浄便座・手洗いには使用できません。使用すると身体の不調の原因となります。

(注1) 別冊のポンプの取扱説明書もよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

(注2) この装置は機能上、ソケット部<図-3>より少量の水漏れがありますが、異常ではありません。

### 4 試運転

#### ▲ 警 告

- 配線を取り付けたり取り外したりする場合、必ず電源を遮断して作業を実施してください。感電する恐れがあります。
- 電源を投入後及び通電状態にて制御盤の充電部やモータ端子、ケーブル先端部などに触れないでください。漏電・感電・火災の原因になります。
- ポンプカバーを外したまま使用しないでください。ほこりや絶縁劣化などで漏電・感電・火災の恐れがあります。
- モータ、制御盤（電装箱）には水をかけないでください。感電・漏電・火災や故障の原因になります。
- 停電の場合は電源スイッチを切ってください。復電時に製品及び設備機器の破損や急にポンプが運転してけがをする恐れがあります。
- 運転中は吸込口に手足などを近づけないでください。吸い込まれてけがをする恐れがあります。
- 製品を吊上げ状態での使用及び作業は行わないでください。落下及びけがの恐れがあります。

#### ▲ 注 意

- 定格電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 運転中は回転部分に触れたり、開口部に指や異物などを入れないでください。感電、破損、けがの原因になります。
- 運転中、停止直後はポンプ、モータなどに触れないでください。高温になっている場合がありますので、火傷をする恐れがあります。
- 長期間使用にならない場合は電源を遮断してください。絶縁劣化による漏電・感電・火災の原因になります。
- 空運転、一定時間の締切運転、取扱液中に空気を混入させないでください。ケーシング・軸受・軸封などが破損したり、揚水不能になる恐れがあります。また、ポンプが過熱し火傷をする恐れがあります。
- バルブ類は正規の状態で使用ください。正常に動作できずユニット破損の恐れがあります。
- ポンプの周辺、ケーブル、制御盤、ポンプカバー内に燃える恐れがあるものを置いたりかぶせたりしないでください。過熱して発火する恐れがあります。
- 長期保管後や休止後の運転開始時には、試運転を実施してください。固着などによるポンプ拘束、モータ焼損、落水などによる空運転などの恐れがあります。
- ポンプの運転は、仕様範囲内で行ってください。仕様範囲外での運転は、ポンプの故障や事故の原因になります。

- 試運転時は、ポンプ・配管内の空気抜きを十分行ってください。ポンプがエアロックを起こしたり、温度上昇し、故障・事故につながる恐れがあります。
- 呼び水及び排気をする場合は、本製品に水がかからないようにしてください。漏電・感電・火災、故障の原因になります。
- 自吸運転は、プラグ（呼び水口）をしっかりと締めて行ってください。自吸完了時に水が噴き出して、モータや制御盤（電装箱）などにかかると、漏電・感電、故障の原因になります。
- 砂や異物を吸い込ませないでください。始動不能や動作不良の原因になります。

[注記] ポンプの取扱説明書もよくお読みいただき、確実に試運転を行ってください。

保守・点検が終わりましたら、次の順序で試運転をおこなってください。

- (1) 給水管側のスルース弁を開け、水道水を受水槽内に貯えてください。水が貯えられますと、ボールタップの働きにより自動的に止まります。
- (2) 吐出し管側のスルース弁及び配管した給水栓を全部開いてください。
- (3) ポンプカバーを外し、呼び水用プラグを取り外し、呼び水口より注水します。注水後、呼び水用プラグをしっかりとねじ込んでください。
- (4) ポンプの圧力スイッチの設定圧力を確認してください。吸上揚程は1m程度です。
- (5) ひしフランジのキャップを、小穴が下側になるようにゆるめてください。
- (6) 電源プラグを差し込んでください。
- (7) 電源を入れますとポンプが運転し、自吸を始め、吸込管中の空気を排出して自動的に自吸します。キャップの小穴から水が勢いよく噴き出してきたら自吸完了です。
- (8) 自吸が完了したら、キャップをしっかりと締めてください。
- (9) 揚水を始めましたら、各給水栓を開閉し、ポンプの始動停止の状態や運転音が異常に高くないか、ポンプおよび配管の水漏れがないかどうか調査してください。  
揚水しないときは、呼び水が不足している場合がありますので、電源を切って再び呼び水をしてください。
- (10) 給水栓を全部閉じて、ポンプが停止することを確認してください。
- (11) 試運転が完了しましたらモータ、ポンプ、アキュムレータなどについた水滴を乾いた布で拭き取ってください。
- (12) 試運転が完了しましたら受水槽のふたをしてください。

## 5

## 保守・点検

### ▲ 警 告

- 動かなくなったり異常（ケーブル破れ、コゲ臭いなど）がある場合、直ちに運転を停止して電源を遮断し、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に点検あるいは修理を依頼してください。異常のまま運転を続けたり、修理に不備があると、漏電・感電・火災、漏水などの原因になります。
- 点検・交換の際は、必ずポンプの電源を遮断する。または、電源プラグを抜いて作業を実施してください。その際は、濡れた手で作業しないでください。漏電・感電やけがの恐れがあります。
- 機器を移動し再設置する場合は、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご相談ください。据付に不備があると、漏電・感電・火災、漏水などの原因になります。
- 制御盤（電装箱）などの電気部品の点検・交換時には、電源遮断後テスターなどで無電圧になっていることを確認してから作業を実施してください。感電やけがの恐れがあります。
- モータの絶縁抵抗値が1MΩ以下に低下した場合、すぐにご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に連絡してください。モータが焼損したり、感電や火災を起こす恐れがあります。
- 修理の際は当社純正部品を使用してください。純正部品以外を使用された場合、故障及び事故の原因になります。また、正常な機能を発揮できない恐れがあります。



- 修理業者以外の方は、排水コマの取り替え、フィルタの掃除以外の分解・修理・改造やケーブル交換を行わないでください。不備があると故障・破損・感電・火災の原因になります。

### ▲ 注 意

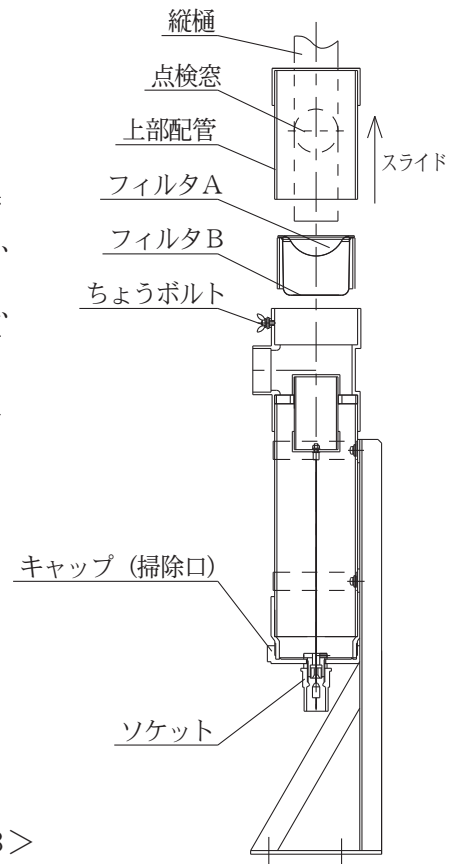
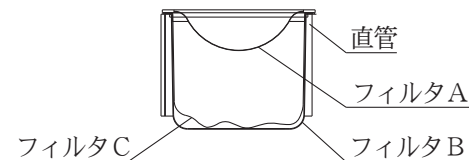
- 冬期に使用しない場合は、電源を切りポンプ及び配管内の水を抜いてください。ポンプ内や配管内に水が入ったまま放置するとポンプが凍結破損する恐れがあります。
- ポンプが高温の場合はプラグ（呼び水口）を取り外さないでください。熱湯が噴出し、火傷をする恐れがあります。
- 長期保管後や休止後の運転開始時には、試運転を実施してください。固着などによるポンプ拘束、モータ焼損、落水などによる空運転などの恐れがあります。
- 長期間安心して使用頂くために定期点検と日常点検両方の実施をお勧めいたします。点検を怠ると、ポンプの故障、事故などの原因になります。定期点検についてはご購入先、もしくは最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 消耗品は定期的に交換を行ってください。劣化・摩耗したまま使用になると、水漏れや焼付き・破損などの事故の原因になります。定期点検、部品交換などは、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に依頼してください。
- 圧力計・連成計などを使用の際は、測定時以外はコックを閉じてください。常時開けておくと圧力計・連成計などが故障する原因になります。
- 点検は点検項目に従って必ずおこなってください。故障を未然に防止できず、事故につながる恐れがあります。

#### 5. 1 ポンプの保守

ポンプに付属している取扱説明書をお読みください。

#### 5. 2 セパレータ内のフィルタの掃除<図-3>

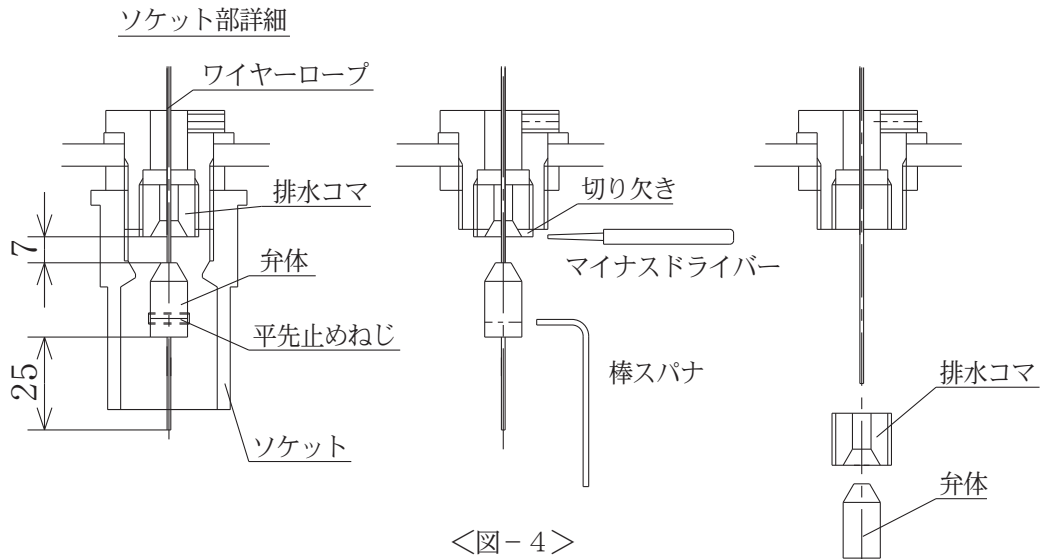
- (1) ご使用とともにセパレータのフィルタが木の葉等で詰まりフィルタの役目を果たさなくなります。点検窓から見てフィルタが詰まっている場合、次のようにしてフィルタを掃除してください。
- (2) 上部配管を固定しているちょうボルトをゆるめ、上部配管を上をスライドさせ、フィルタA、フィルタBを取り出し、掃除してください。
- (3) フィルタBでも土砂等のゴミが十分に除去できない場合は、フィルタC（標準付属品）を、フィルタBの内側に取り付けてください。
- (4) フィルタCでも植物繊維などの微細なゴミが流入する恐れがある場合は、ポンプの吐出し側に浄水器MRK2-25を設置ください。



<図-3>

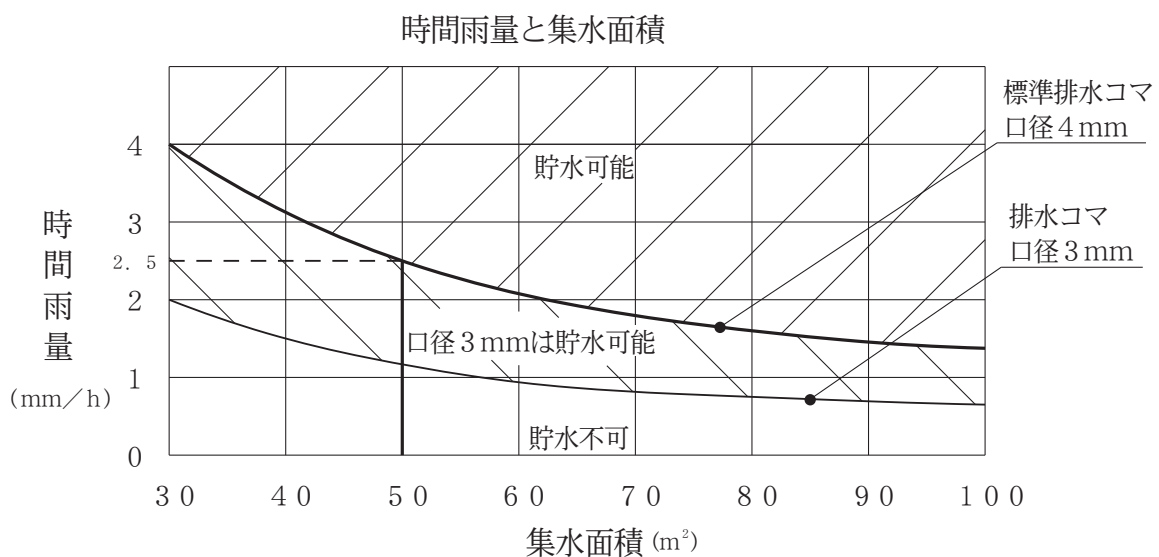
### 5. 3 セパレータ内の掃除、排水コマの取り替え<図-4>

- (1) 排水コマは、口径4mmのものが標準で取付けられています。時間雨量と集水面積の関係はグラフの通りで、時間雨量が斜線部の範囲であれば貯水が可能です。
- (2) 集水量を優先する場合は、口径3mmの排水コマに取替えてください。その際、砂等がたまっていたら取り除いてください。
- (3) 排水コマの交換は、初めにソケットを外してください。次にワイヤロープに弁体を固定している平先止めねじ（予備品付属）を棒スパナでゆるめ、弁体を外してください。次に排水コマの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、排水コマを回転させて取り外してください。
- (4) セパレータ内の掃除は、上記の作業の後、キャップ（掃除口）を外して行ってください。
- (5) 掃除が終わりましたら、弁体を下記の寸法の位置になるように取り付けてください。
- (6) 降雨時にセパレータ下部から初期雨水除去のため若干の漏れ（約0.8L/min）があります。



#### <グラフの見方>

排水コマ口径4mm、集水面積50m<sup>2</sup>では、2.5mm/h以上の雨量で貯水が可能で、2.5mm/h未満の雨量では貯水ができないことを示します。

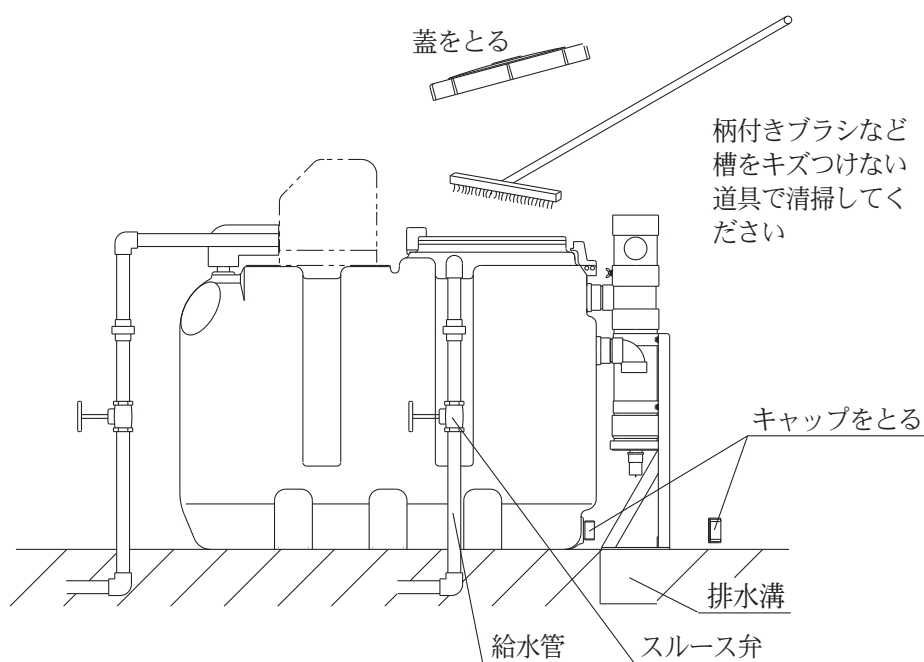




#### 5. 4 受水槽の掃除<図-5>

装置を長年ご使用になり配管の赤錆や異物が受水槽に沈殿した場合は、下記の要領で清掃してください。

- (1) 電源を切ります。(電源プラグをコンセントから抜きます)
- (2) 給水管のスルース弁を閉じます。
- (3) 受水槽の蓋をとり、長い柄付ブラシ等によって槽壁を掃除します。
- (4) 排水用キャップ外して槽内の水を抜きます。
- (5) 給水管のスルース弁を開いて水を出し、槽内をすすぎます。
- (6) (3)～(5)を2回ほど行ってください。
- (7) 排水用キャップを元通りしっかり締めてください。
- (8) 試運転(本書P6の手順)を行ってください。



<図-5>

## 6 故障の原因と対策

### ▲ 警 告

- 動かなくなったり異常（ケーブル破れ、コゲ臭いなど）がある場合、直ちに運転を停止して電源を遮断し、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に点検あるいは修理を依頼してください。異常のまま運転を続けたり、修理に不備があると、漏電・感電・火災、漏水などの原因になります。
- 点検・交換の際は、必ず電源を遮断する。または、電源プラグを抜いて作業を実施してください。その際は、濡れた手で作業しないでください。漏電・感電やけがの恐れがあります。

下表の点検項目を実施いただいた後も異常がある場合は、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

ポンプの〈故障の原因と対策〉については、ポンプの取扱説明書をご参照ください。

現 象	原 因	対 処 方 法
モータが回らない（受水槽内に水がない）	断水	復帰するまでお待ちください
	ボールタップの故障	ボールタップを点検・修理・交換してください
モータが回らない（受水槽内に水がある）	フロートスイッチの故障	フロートスイッチを点検・修理・交換してください
モータは回るが揚水しない	吸込管より空気を吸込んでいる	吸込管を点検・修理してください
	ポンプ内の水落ち	チェック弁を点検・修理・交換してください
水を使用しないのに運転する	給水栓からの水漏れ	給水栓を点検・修理・交換してください
	吐出し管の水漏れ	吐出し管を点検・修理してください
	チェック弁からの水漏れ	チェック弁を点検・修理・交換してください
オーバーフロー管から水が溢れる	ボールタップの故障	ボールタップを点検・修理・交換してください
セパレータ上部から水が溢れる	フィルタの詰まり	フィルタを取り出し、掃除してください(本書P7参照)
雨水が溜まらない	排水コマの径が大きすぎる	排水コマを小口径のものに取り替えてください(本書P8参照)
初期雨水を除去できない	排水コマ部の詰まり	排水コマ部を掃除してください(本書P8参照)



